

仕上げは機械におまかせ！

～建設機械の自動制御による施工現場の見学会開催～

【ポイント】

- ・四国地方整備局では、建設プロセスにおいてICT（情報通信技術）を活用し、施工の効率化・高度化による生産性向上・現場技術力強化を図ることを目的として、情報化施工の普及・促進に取り組んでいます。
- ・今回、その取り組みの一環として、施工現場の見学会を下記のとおり開催します。

【概要】

- ・日 時：平成22年2月23日（火）13：00～15：00（小雨決行）
- ・場 所：徳島県阿南市福井町小野地先（徳島河川国道事務所管内）
- ・見学技術：舗装下に施工する砕石を敷均す作業において、建設機械を自動制御し、高さを調整する技術を用いる。
- ・工 事 名：平成21年度 福井舗装工事
- ・請負者名：八木建設株式会社
- ・対 象 者：発注担当者（国、県、市）、工事施工業者

国土交通省 四国地方整備局
徳島河川国道事務所

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

TEL：088-654-2211（代表） TEL：088-654-9162（直通）

副所長（道路） かみぼやし 上林 まさゆき 正幸 内線205

◎工務第二課長 かどた 門田 たかし 隆志 内線411

◎：主たる問い合わせ先

情報化施工現場見学会実施内容

実施日時：平成22年2月23日（火） 13：00～15：00

※少雨決行しますが雨天の場合は中止します。

雨天時の問合せ先：八木建設本社 0884-22-1207

ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~yagi.co/>

実施場所：平成21年度 福井舗装工事

阿南市福井町小野 国道55号日和佐道路（添付地図参照）

※上層路盤工：L=200 m（A=1，985 m²）

実施内容：GNSS（全地球測位航法衛星システム）を活用することにより
建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、設計データとの差分に基づき制御データを生成し、作業装置を自動制御するマシンコントロール技術を用いて、路盤工の敷均しを実施する。

受入予定人数：100名までとします。（駐車場の収容に限りがあるため）
駐車場の収容台数：普通車80台

	（見学会スケジュール）	（所要時間）
13:00～13:05	① 開会挨拶（国土交通省 徳島河川国道事務所）	5分
13:05～13:15	② 工事概要の説明 平成21年度 福井舗装工事の工事概要について説明	10分
13:15～13:45	③ 情報化施工実施内容の概要説明 ・情報化施工についての解説 ・機器の詳細説明 ・目的と効果等	30分
13:45～14:25	④ 情報化施工の実施状況見学 ・機器類の設置状況について解説 ・コントロールボックスのモニター表示 （下層路盤施工時の模様をスクリーンで再生） ・GNSSによる仕上り面の計測状況 ・オペレーター体験（希望者の中で人数を制限して実施）	40分
14:25～14:45	⑤ 質疑応答 参加者より適宜	20分
14:45～14:50	⑥ 閉会挨拶（八木建設㈱）	5分

現場見学会 案内図

広域図



詳細図



分岐部(上図の赤丸)には、ガードマンを配置しております。

グレーダやブルドーザ等のマシンコントロール技術(敷均し)

舗装工事やダム工事において、グレーダやブルドーザを用いた敷均し作業やフィニッシャによる舗装作業に、マシンコントロール技術が積極的に導入されている。大規模造成工事(ダム、空港)に多数の導入事例がある。また最近では、中小規模工事の路盤工への導入実績が増加しつつある。

技術概要	TS(トータルステーション)やGNSS、もしくは回転レーザを用いて、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、設計データとの差分に基づき制御データを生成し、作業装置を制御
導入効果	施工効率の向上(丁張りレス等)、出来形・品質の確保
対象機種	グレーダ、ブルドーザ、フィニッシャ
対象工種	土工(掘削工)、路盤工(盛土工:敷均し)、ダム基礎工(掘削工)、舗装工
技術レベル	測量機器メーカーにより既に商品化
要領・マニュアル	なし
図・写真等	<p>グレーダのマシンコントロール技術(例)</p>